

地元の小学生が植えたお米が「新潟市のごみ袋」に！

原料となる「資源米」の田植えイベントを実施します！



令和6年度の出前授業の様子

本市は、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの利用を推進しています。

この一つとして昨年度から市内産のお米を原料にしたバイオマスプラスチック製の指定ごみ袋を導入しています。

このたび、来年分のごみ袋を製造するため、ごみ袋の原料となる資源米（非主食用米）の田植えを、潟東小学校と合同で実施しますので、広報にご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和7年5月19日（月）午前9時40分から午前10時10分

※雨天中止

- 2 場所 新潟市南区木滑 702～707（株式会社やまがら生産圃場）

- 3 出席者 新潟市 中原 八一 市長

株式会社バイオマスレジマーケティング 山田真 代表取締役社長

株式会社やまがら 吉崎 良咲 取締役

新潟市立潟東小学校5年生 40人

- 4 内容 資源米の田植え（田植機乗車）の体験、記念撮影 など

- 5 その他 バイオマスごみ袋の詳細等については、別紙「事業概要」をご覧ください。
取材希望の場合は、別紙「取材申込書」にて申し込みください。

(株)バイオマスレジマーケティング 杉原
TEL 080-5099-1023

お問い合わせ



新潟市環境部循環社会推進課 近
TEL 025-226-1391

～お米づくりから派生するゼロカーボンへの挑戦～



取組内容

●お米（資源米※）の生産 ※非主食用米

新潟市内でお米のバイオプラスチック用の資源米を生産

- ・農地所有適格法人 株式会社やまがら（西蒲区）
- ・農事組合法人 あけぼのクラブ（江南区）

●資源米を使った「指定ごみ袋」製造

新潟市内で生産した資源米を使った「指定ごみ袋」製造

- ・「指定ごみ袋（20ℓ・小）」を令和7年度内に500万枚

（低密度バイオポリエチレン、新潟市産の米10%配合）

ごみ袋ができるまで

西蒲区と江南区で育てた「お米（資源米）」が、工場でお米のプラスチック「ライスレジン®」になり、それを原料とした「新潟市の家庭用ごみ袋」に生まれ変わります。



市民のみなさんがこのライスレジン製ごみ袋を使う事によって、これまでより「二酸化炭素の排出を10%抑制」することができます。

ポイント

- 令和6年度全国で初めて市内で生産されたお米を原料とした指定ごみ袋を導入＝「田園型環境都市にいがた」のPR
- ごみ袋を通じて、環境問題やプラスチック削減などを意識するきっかけに＝「ゼロカーボンシティ」の取組みPR

ごみ袋のデザイン（令和6年度製造分）



← 持ち手部分に稲穂をデザイン

← お米のごみ袋に変わる理由や効果など

← 取組みに賛同する企業名（ロゴ）

← 「バイオマスマーク」「ライスレジンマーク」

※令和7年度製造分の袋の流通は、令和8年4月以降を予定

5月16日（金）正午までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

E-mail junsui@city.niigata.lg.jp

FAX 025-222-7032

新潟市環境部循環社会推進課 行

5月19日（月）9：40～ ごみ袋の原料となる「資源米」の田植えイベント

取材申込書

社 名		
連絡先	氏名	
	電話番号	
	FAX 番号	

【案内地図】

新潟市南区木滑 702～707（新潟交通観光バス(株)潟東営業所 付近）

※車は○囲みの「関係者駐車位置」に駐車をお願いします。



上記の二次元コードよりグーグルマップの位置情報を確認できます。